

走行チェックシート

日付	2012年7月29日(日)		時間	~	イベント	2012"コカコーラゼロ"鈴鹿8時間耐久ロードレース	
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L2	ライダー	今野由寛&津田拓也&民辻啓	
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	33	°C
	コンディション	DRY			気圧	1012	hpa
	路面温度	57	(計測時間)		湿度	69	%
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10		エンジンOIL	シェルアドバンス RMG-001 #40		
	ファイナルレシオ	16 x 42(2.625)					
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.19	4th	B(31/21)	1.48	
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	B(28/21)	1.33	
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(32/25)	1.28	
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-8		
	スプリング	10.25	N/m	OIL	SR6 #5		
	自由長	-	mm	油面	195	mm	
	イニシャル	13	mm	残ストローク	mm		
	COMP	-10		突き出し	STDトップブリッジで0mm突き出し		
リア	パーツ名	SHOWA(340mm)		TEN	-6		
	スプリング	105.0	N/m	残ストローク	mm		
	自由長	mm		リンク	SPL		
	イニシャル	12	mm	リンクロッド	mm		
	COMP(HI)	+2と1/2回転		車高	STD+17mm ピボット-2mm スイング長616mm		
	COMP(LO)	-15					
タイヤ	フロント			リア			
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ		
	サイズ	125/80/R420		サイズ	210/60R420		
	エア圧	2.1		エア圧	1.3		
チェック	順位	4位		ベストラップ	2' 09" 706(今野) 2' 09" 535(津田)		
	水温	78	°C	油温	138 °C		

<コメント>

やってまいりました鈴鹿8耐の季節が・・・
 ここが一年で最大の山場になります。ここの結果次第で後半戦の士気も変わってきます。
 2012年の体制は今野由寛選手、津田拓也選手、民辻啓選手の3人体制で戦います。
 今野選手はMotoMapSUPPLYからJSB1000クラスに参戦しているエースライダーです。
 津田選手は全日本ST600クラスに参戦中。筑波ラウンドではST600クラスで優勝！今最も熱いライダーです。
 さて、民辻選手ですが、レーシングサプライを経てAMA参戦、スズキのテストライダーから久しぶりに第一線に戻ってきました。
 事前テストが3回ありますが、3人で乗ると一人あたりの走行時間が少なくなってしまいます。
 まずは津田選手に現状のマシン、タイヤを把握してもらってからスタート。少ない走行時間の中でタイムをまとめてきました。
 これに今野選手も触発され自己ベストを更新。幸先のいいスタートになりましたが、まだ課題はたくさんあります。
 耐久では格別の違うライダーのポジションをあわせていくのが大変ですが、今回はハンドルの幅と長さの変更でOKでした。
 プレーキングのネガを解消するためにバネレートは10.0Nから10.25Nにあげました。反発が大きくなったのでTENを少し掛けて動きを抑えます。
 本当はもう少しフロントレート上げていきたいのですが、これ以上路面温度が上がるとフロントタイヤが持ちません。
 事前テストはそれほど路面温度が上がらず50度前後。決勝は60度を予定しているためまだまだグッドコンディションです。
 最後の事前テストを終えてエンジンチェックを行ったときに二台ともピストンにデトネーションを発見。急遽一台分余分にエンジンO/Hを行いました。
 当然燃費を確保するために燃料を絞っていますが、次回は点火時期も遅角させることに。
 つまりレースウィークにまったく新しい燃料マップでのスタートとなりました。
 過密なスケジュールの中、何とかメインカーとTカーの整備を終え、サーキットへ。
 初日の走行でタイヤの選択をして、燃費の確認と車体の確認。一日終わるごとにマフラーを外してエンジンチェック。
 デトネーションは出ていないので空燃費計を確認しながらマップを調整。
 予選で二人とも2分9秒台を出しましたが12位。残念ながらTOP10トライアルに出場することはできませんでした。
 土曜日のフリー走行でリヤのイニシャルやタイヤのエア圧を少しアジャスト。
 朝フリーでパーツの確認とライダーの最終的な確認を終えていよいよ本番です。
 スタートライダーは今野選手。カウントダウンが始まり決勝レースがスタート！
 好スタートを決め7番手あたりで一周目を終えます。そのままペースを保ち続けて8番手で津田選手に交代。
 二回目のピットインで今野選手に交代ですが、給油時のガソリンが少し漏れていたというサインが。
 予定より一周減算してピットに入れましたがどうやらほとんど漏れはなかったようです。
 しかし、この一周減算が最後にもう一度給油しないと間に合わないことが判明。微妙ですが計算上で一分ほど足りません。
 と、ここでコース上で炎上した車両がありセイフティーカーが5周入ったので予定通り走れます。
 順位は6番手を走行。残すところ最後のピットインです。津田選手に交代。最後のアタックをして後続を振り切ります。
 残り数周で上位がストップして結果4位でチェッカーを受けました。
 表彰台には立てませんが、チーム史上最上位の結果です。
 暑い中足を運んで応援していただいた皆様に感謝しております。
 ありがとうございました。

レーシングサプライ
 畑中健太郎